



令和3年8月13日
発行 美保だいせん会
印刷 東京印刷株式会社

天翔の碑で

献花追悼を実施

飛行群・整備補給群・検査隊隊員が追悼

6月28日(月)、飛行群・整備補給群・検査隊は基地内「天翔の碑」前において慰霊行事を実施した。

この慰霊行事は、21年前の平成12年6月28日、島根県隠岐島北西の空域において発生したC1輸送機の墜落事故で殉職した5名の隊員の追悼と事故防止への決意を新たにするとともに、今年の実施している。当日は、午前7時の飛行群を皮切りに、検査隊、整備補給群所属の隊員が「天翔の碑」の前に整列し慰霊行事が実施された。



飛行群慰霊行事の様子



黙とうを捧げる整備補給群の隊員

慰霊行事に臨む検査隊

式では最初に、「天翔の碑」の建立の経緯が説明された後、殉職隊員名簿の奉読、参列者による黙とうが実施され、最後に代表者による献花を実施した。

飛行群司令・川口裕史1佐は慰霊行事の中で「任務遂行のため、志半ばにして、その職に殉じられました五柱の御霊に對しまして心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。飛行群は平成7年6月の創設以来、輸送任務及び飛行教育をはじめとする各種任務に邁進して参りました。そして、今年、第41教育飛行隊の隷属替え、新たな空中給油・輸送機のKC46Aの導入へと大きな変革を控えております。このような中、我々にとって飛行安全は永遠の課題であり、未だ航空自衛隊において航空事故の絶無に至っていない現実を鑑みると安全活動に終わりはありません。我々は今一度、飛行安全に対する想いを強く持ち、足元を固め、その使命を全うせんとして職に殉じられた英霊の使命感溢れる精神を継承し、尊い犠牲を無にすることのないよう全力を尽くして参ります。これからも、引き続きより精強な部隊となるべく飛行群一丸となり全身全霊を捧げて任務遂行及び飛行安全に日々努力することを改めて誓います。」(要旨)と追悼の言葉を述べた。



献花を実施する飛行群司令

全隊員が安全について考える

航空自衛隊安全の日」に各部隊で教育を実施

7月1日(木)、美保基地は「航空自衛隊安全の日」の行事として、それぞれの部隊において安全意識の高揚を目的とした教育を実施した。

午前9時、全隊員による1分間の黙とうが実施され、殉職者の冥福を祈った。司令部では、安全班長による教育が実施され、司令部所属の全隊員が同僚に参加した。



グループディスカッションの様子

教育では、最初に航空支援集団司令官の訓示がビデオで放送された。支隊長は「我々は、それぞれが社会においても、家庭においてもかけがえのない存在であり、大小の差はあれど、何らかのリスクの中で生活し、また勤務を行っている。そのような中で、一人ひとりが事故を防止する「最後の砦」として、常に変化する状況を敏感に感じ取り、自問自答を繰り返して行うとともに仲間とのコミュニケーションなどを活用して判断、決心、行動してもらいたい。過去の事故で亡くなった御霊の思いに答えるためには、今の場に居る者として、やるべきことをしっかりとやるべきこと。今日、貴重な教訓を風化させることなく、事故を防止していく糧とする日としよう。」(要旨)と訓示した。

ついでに教育と地上安全に関するグループディスカッションが実施された。ディスカッションでは参加者がグループごとにテーマを与えられ、全員が意見を述べた後、代表者による意見発表が行われた。教育に参加した一人ひとりが、過去の事故から学び、事故を決して起こしてはならないという誓いを新たにすると、チームワークに

安全班長による教育



與儀司令に派遣申告をする2名

7月5日(月)、第3輸送航空隊は、静岡県熱海市で発生した土石流災害の行方不明者を捜索するため、基地業務群管理隊警備小隊所属の田多孝治2曹、大賀直樹士長の2名と災害救助犬「ヒエン号」を派遣した。



派遣されたヒエン号

2019年に発生した台風19号の際にも、被災地において行方不明者の捜索を実施した経験がある。出発の見送りで田多2曹は「ヒエン号のハンドラーとして日頃の訓練の成果を十分に発揮し要救助者の捜索にしっかりと従事してきます」と。また、大賀士長は「若さとやる気を活かして最後まで全力で頑張ります」と力強く答えた。

與儀3輸送隊司令は2名に対し「2次災害には十分に気を付けて、日頃の訓練で培った技術を発揮してほしい」と激励の言葉を述べた。

私は霊に関する物を見た事も感じたこともない。霊感が強いといわれる人にはその姿が見えたり、声が聞こえたりすることであるが、幸いなのか残念なのか私にはそのような経験はない。しかし、「きょうと霊は存在するのだろうか」と思ってしまうような出来事があった。

私と兄が小学校の頃、父が仕事帰りに一匹の成犬を貰ってきた。早速、動物好きの兄弟で「ハリー」と名付け、ルールの決めて毎日欠かさず散歩に連れて行った。それから二年後、父が「二匹目の犬を買って来た。その犬も子犬ではなかったが、新入りにラッキーと名付け二匹を連れて兄弟で散歩をしていた。しかし、ラッキーが我が家に来てから三年目の冬に体調を崩し、その生涯を終えたのである。その後、兄の進学の都合で愛犬との散歩は私とハリーだけの散歩となった。兄がたまに帰省し、散歩の為にリードを持つと「ハリーは嬉しそうに尻尾を振っていた事を憶えている。そんなハリーも我が家に来てから十二年目の春に天寿を全うし、家族の見守る中で静かに息を引き取った。

それから何年後かのある日、就職している兄の職場の同僚である女性が突然「あなたには長い毛の茶色い犬を二匹飼っておられましたね。優しい顔をして、肩の辺りに付いてますよ。」と言われたらしい。兄からその話を聞いて、とても温かい気持ちになったのを憶えている。

父に頼み、二匹の遺骨は先祖の墓の角に納骨してもらった。今年の夏も、ご先祖様とお犬様に感謝の気持ちを伝えるに行く予定だ。

(シエルテイ)

静岡県熱海市で発生した土石流災害に出動

隊員2名と災害救助犬「ヒエン号」を派遣



みはほほ

基地モニター研修を実施

高尾山分屯基地・陸自米子駐屯地を見学

6月4日(金)、美保基地は基地モニター研修を実施した。

モニター研修は、最初に基地資料館において状況説明を実施した。次に米子市に所在する陸上自衛隊米子駐屯地に移動し、同駐屯地の概要についての説明と災害発生時に使用する人命救助システムの器材等についての説明を受けた。



米子駐屯地で人命救助システムの説明を受ける



高尾山山頂付近からの絶景

同駐屯地で昼食を摂った後、午後からは、陸上自衛隊美保分屯地と高根県松江市に所在する航空自衛隊高尾山分屯基地の研修を実施した。高尾山分屯基地研修では、オペレーション地区の見学が行われ24時間絶え間なく日本の空を警戒監視している隊員たちの姿にモニターの方々は強い感銘を受けた方々からは「陸上自衛隊で初めて食事をしましたが、栄養のバランスもすっかりと考えられた美味しい食事でした。」との感想を頂いた。また、高尾山研修では「航空自衛隊が24時間、日本の空を守ってくれていることを初めて知りました。私たちが眠っている時も決して休むことなく常に警戒している現場を見ることが

新型コロナウイルスの影響で、モニター活動も多くの制約を受ける状況が続いているが、今後も可能な限りモニター活動を通じて航空自衛隊及び美保基地について理解して頂けるよう活動していきたい。

鳥取地方協力本部長から褒賞状

基地業務群管理隊 萩原 圭都 士長

第3輸送航空隊基地業務群管理隊の萩原圭都士長は、6月14日(7月9日までの間、鳥取地方協力本部(倉吉所)に広報官として臨勤務し、募集活動を積極的に支援した功績により、鳥取地方協力本部長より褒賞状を授与された。



鳥取地方協力本部長から褒賞状を授与される萩原士長



C2輸送機と赤松3佐 (写真左から3人目)



T400練習機と大原3佐 (写真右)

10000飛行時間を達成

第403飛行隊 赤松 貴之3佐
第41教育飛行隊 大原 健 3佐

2名の操縦者が10000飛行時間達成(美保基地)。この度、2名の10000飛行時間達成の操縦者が、41教育飛行隊 大原 健

3佐は同年5月25日にT-400でそれぞれ10000飛行時間を達成し、各フライト後にセレモニーを実施した。両名には熟練した技能や経験を若年操縦者にしっかりと伝授し、美保基地としても伝統を継承しつつより一層の飛行安全に努めていくことを期待する。

2年ぶりの境港一斉清掃

美保基地幹部会から47名が参加



岩の隙間の小さなゴミも丁寧に拾います

6月13日(日)、美保基地幹部会は「境港一斉清掃」の一斉清掃に参加した。この一斉清掃は、中海と宍道湖がラムサール条約(水鳥湿地保全条約)に基づき湿地登録されたことを記念し、2006年から実施しているものである。美保基地は毎年、同清掃活動に積極的に参加しているが、昨年は新型コロナウイルス

イルスの影響で中止となったため、2年ぶりの清掃活動となった。今年の清掃活動には、與儀基地司令をはじめ、基地幹部会から47名の隊員が参加した。当日は、断続的に強い雨の降る中で、清掃となったが午前8時30分から約1時間、外江港、西工業団地周辺で実施され、海の湖岸に打ち上げられたゴミを丁寧に拾い集めた。



悪天候の中お疲れさまでした

ほくのおとうさん

川崎 陽翔・友翔(0歳)

衛生隊 川崎 康大 2佐

ばぶばぶ(ごんには)は。僕たちは、今年の3月に双子で生まれたのでちゅ。僕たちのお父さんは、ミルクの温度管理が雑だし、オムツ交換に時間がかかるし、沐浴をお母さんに任せっきりでちゅ。お姉ちゃん(3歳)も僕たちの世話をしたりしますが、人形(メルちゃん)のお世話と同じようにされるので困ってまちゅ。あと、チャイルドシートが後部座席に3つ並んで詰め込まれているので、とっても窮屈でちゅ。早くミニバンに買い替えてほしいでちゅ。文句ばかり言いましてが、僕たちはそんな優しくて頼りになる素敵なお父さんが大好きでちゅ。

執筆：川崎 陽翔&友翔 (泣き声から推定し代筆)



写真左から：友翔くん 陽翔くん

初めての開催です

美保基地准曹会入会式を開催

7月1日(木)、美保基地准曹会は同日付で1等空曹に昇任し同准曹会に入会した6名の隊員(当日は5名を基地司令室において開催した)。

式では最初に、基地司令・與儀孝一佐から昇任者全員に記念品が手渡された。次に與儀司令から昇任者に対して「私は上級空曹の皆さん



前列の5名が今回入会した隊員

域の期待に添えて欲しい。2点目は若い隊員から「あんな人になりたい」と思われるような人間になってもいい。単なる技術だけの世界ではダメです。人間性を伴った心のバランスの取れた人になってもらいたい。時には痩せ我慢も必要です。身を削ることもあります。でも皆さんにはリーダーシップの一翼となってくれることを期待します。」(要旨)と期待の言葉を述べた。



司令から激励の言葉



入会者に記念品を贈呈

職場紹介

後方支援部隊の裏方です 基地業務群本部

だいせん 新聞読者の皆さん、こんにちは。美保基地における後方支援部隊(舞台?)の裏方で陰の立役者を目指し基地業務群本部をご紹介します。業務主任

故事成語

ちんしょうごころ No.242 陳勝呉広 ●物事の先がけをする人のこと。



秦王朝の末期、人々は圧政に苦しんでいた。陳勝と呉広は、失脚しようとして、この乱をきっかけに、次々と反乱がおこる!!

前209年、秦王朝に対し、陳勝と呉広は、この乱をきっかけに、次々と反乱がおこる!!

前206年、秦王朝は、ついに滅んだ!!

陳勝の墓の墓守りを命じた

だんだんと暑さが厳しくなってきた今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。コロナウイルスの影響で自粛を余儀なくされ、旅行に行くことも、地元へ帰ることも出来ずに退屈な日々を送っている方も多いのではないのでしょうか。窮屈な日々の中ですが、私の宝物であるバイクを紹介したいと思います。

ホンダのVTRというバイクです! ピカピカの黒い車体に映える真っ赤なホンダのエンブレム、フレーム、サスペンション、なんともしびれるかわいさです。



カッコいい! ツーリング行くしかないですね

以上、個性豊かな5人を紹介しました。2小隊の隊員は秋以降に浜松基地に転属してしましますが、見かけた際には声をかけてください。

私の宝物 HONDA VTR250 最高です

世界が変わりました

バイクを手に入れた

山陰地方は海も山もあり、最高に気持ちいいロケーションが広がっています。なかなか遠出ができない昨今、皆さんもバイクを手に入れたら風を感じてみませんか? バイク大好き士長

部へ一度足を運んではいかがでしょうか? スタッフ一同お待ちしております。



基地業務群本部をよろしくお願いします

ホープ登場 浜松へ転属します

- 整備補給群検査隊第2小隊
- 猪瀬 誠 2曹 元榮里沙子3曹
- 和田 拓也3曹 岩田健太郎士長
- 門脇 史弥士長

みなさん、こんにちは! 今回の「ホープ登場」は整備補給群検査隊2小隊の隊員をご紹介します。

まず一人目は、仕事も遊びも全力。2小隊の「所ジョージ」こと猪瀬2曹です。今回は見た目がフレッシュというところで、紹介させてもらいます。休日は後輩達を従えて、バイクを乗り回しツーリング・キャンプ・登山と超アウトドアに活動しています。

二人目は、2小隊の「癒し系女子」元榮3曹です。趣味はパン作りで、月曜日には土日で作ったパンやお菓子を持ってきてくれます。これがとてもおいし

四人目は、火起こしならこの人! 2小隊の炎柱、煉獄杏寿郎こと岩田士長です。ボーイスカウトのベンチャー隊副隊長として、土日は火起こしばかりしています。サバイバルに興味がある方は、彼に話しかけてみてください。なんでも答えちゃいますよ。仕事にも熱心に取り組んでおり、今回の予定者課程に入校します。これからが楽しみな人材です。



左から: 和田3曹 元榮3曹 門脇士長 猪瀬2曹 岩田士長

美保基地の 将来を担うホープたち

航空教育隊から着隊完了

7月14日(水)、美保基地に37名の新隊員が着隊した。新隊員たちは今年4月に航空教育隊に自衛官候補生として入隊、約3ヶ月の基本教育課程を修了し、美保基地に配置となった。



素晴らしい横断幕です

午後2時頃、大型バスで基地に到着した新隊員たちは、司令部庁舎及び各部隊で美保基地所属の先輩達の出迎えを受けた。緊張した面持ちで着隊した新隊員たちは、先輩たちの温かい出迎えに少しホッとした様子で、歓迎の横断幕を持って出迎えた隊員たちに手を振って応える者もいた。

着隊した隊員たちは、各部隊で導入教育等を受け、それぞれの職種でプロフェッショナルへの道を目指す事となる。



荷物を持ってそれぞれの部隊へ

弓ヶ浜海浜清掃を実施

11年目を迎えた「白砂青松」活動

6月12日(土)、美保基地准曹会は令和3年度初の弓ヶ浜海浜清掃を実施した。本清掃は、鳥取県西部総合事務所が企画した「白砂青松アダプトプログラム」の活動の一環として、美保基地から毎回多くの隊員と家族が参加している。今回の清掃活動にも60名を超える隊員が参加した。



雨の中の清掃活動お疲れさまでした



丁寧にゴミを拾います

たくさんのゴミを回収しました

ふるさとバンザイ

大阪文化は「粉物文化!?!」

大阪周辺

美保気象隊 殿井 翔1士

大阪はかつて天下の台所と呼ばれ、現在でも食文化の中心地として栄え、多くの観光名所を要しています。しかし、今回は観光名所ではなくても、大阪らしさを感じる地域を紹介していきます。

私の出身地である松原市は、一言でいうとザ・大阪の下町です。有名な観光名所はあまりありませんが、大阪で一番大阪らしさを感じられると私は思います。その理由が粉物文化です。

大阪では粉物は最もポピュラーな食べ物として親しまれ、たくさんのお店があります。駅から降りてすぐの場所にお好み焼き屋、そしてその近くには対抗するようにたこ焼き屋が営業しており、更には、串一本四十円という破格すぎる値段の粉物居酒屋なんて変わり種もあります。

看板が掲げられておらず、一見するとお店に見えない絶品のたこ焼き屋や、細い細い路地裏に構えられている隠れ家のお好み焼き屋など、非日常を感じさせる店舗も少なくありません。大阪文化を探索してみたい方がでしょうか。

第2の人生
お元気で
6月・7月
定年退官者

住所 鳥取県米子市
7月1日付
第3輸送航空隊
谷川 篤史准尉

住所 鳥根県安来市
6月30日付
第3輸送航空隊
清水 吉美曹長

二十世紀梨

今年も梨の美味しいシーズンが到来します。みずみずしい果肉を早く楽しみたいですね。

自宅ですか?すごいマシンですね

家庭訪問

飛行群第403飛行隊 村上亮曹長宅の巻 趣味のおすすめ!

皆さん筋トレに励んでいますか? 本来であれば家庭訪問のコーナーだったのですが、このコロナ禍においては適さないと思い、我が家の自宅紹介をさせていただきます。冒頭で聞かされたように、私の趣味は筋トレです。ダイエット目的のつもりが、その意に反してバルクアップ(増量)させてしまいました。以前は体育館やスポーツジムでトレーニングに励んでいた時期もありましたが、自分甘い私は、言い訳を武器に徐々に足が遠のく日々を過ごしていました。

そこでコロナ禍における感染予防も後押しし、我が家にホームジムを設置する運びとなりました。最初は2畳程度にゴムマットを敷いて、ベンチ台とダンベルだけといった素朴な空間でしたが、妻の目をかいくぐり、だんだんとパワーラックやバーベル、プレイト等を揃えて、今では私の憩いのオアシス、すなわちプライベートと変わりつつあります。ケーブル等付属しているため、工夫一つですべての部位を鍛えることが可能です。

今まさに趣味を広げてみようといった方、何かを始めるには勇気と決断が必要で、今こそ「できない理由より、できる理由を!」もって、何か新しいことにチャレンジしてみたいですね!?!